

第六次総合計画 施策評価シート（令和3年度）

4-①

施策

市民の自発的な健康づくりを支援する

担当部局

保健福祉局，企画財政局，文化産業局

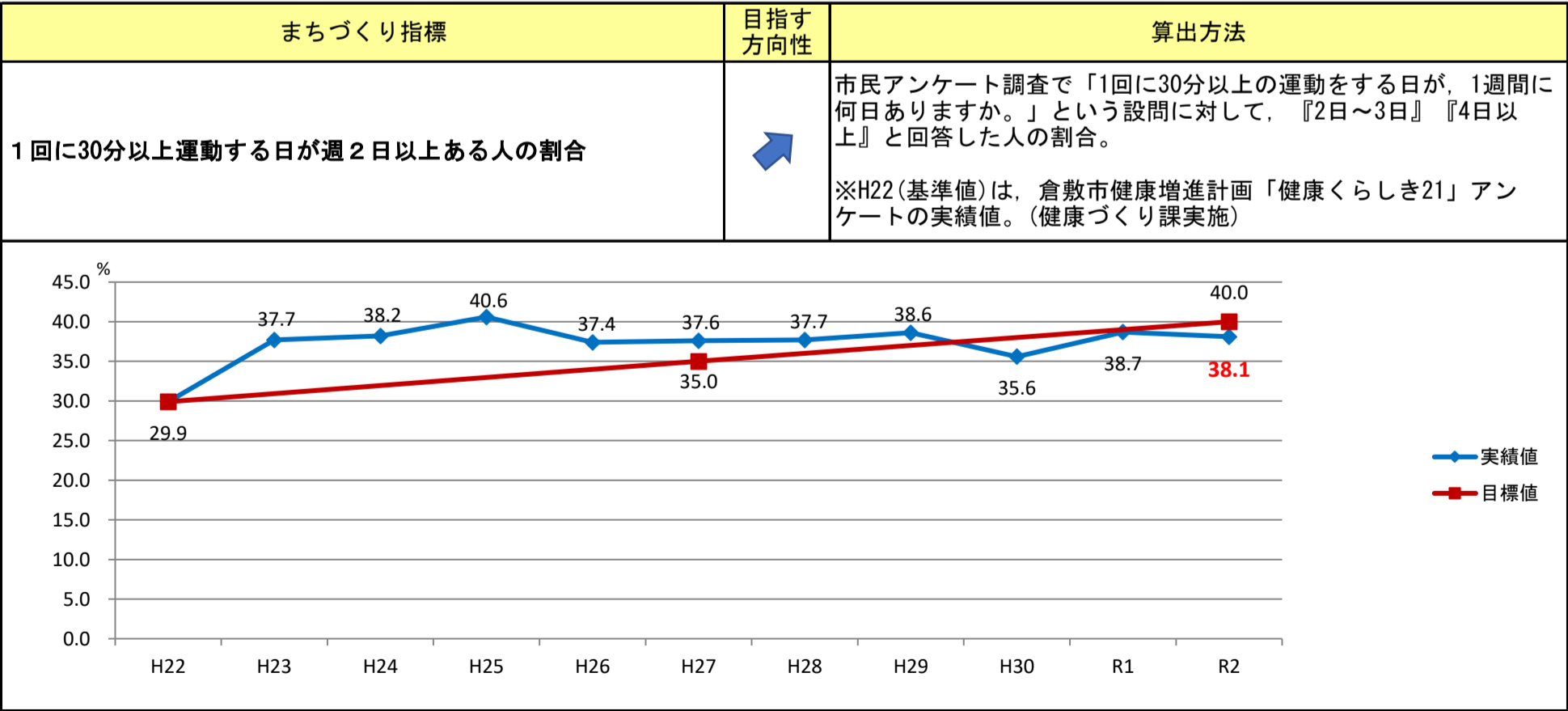
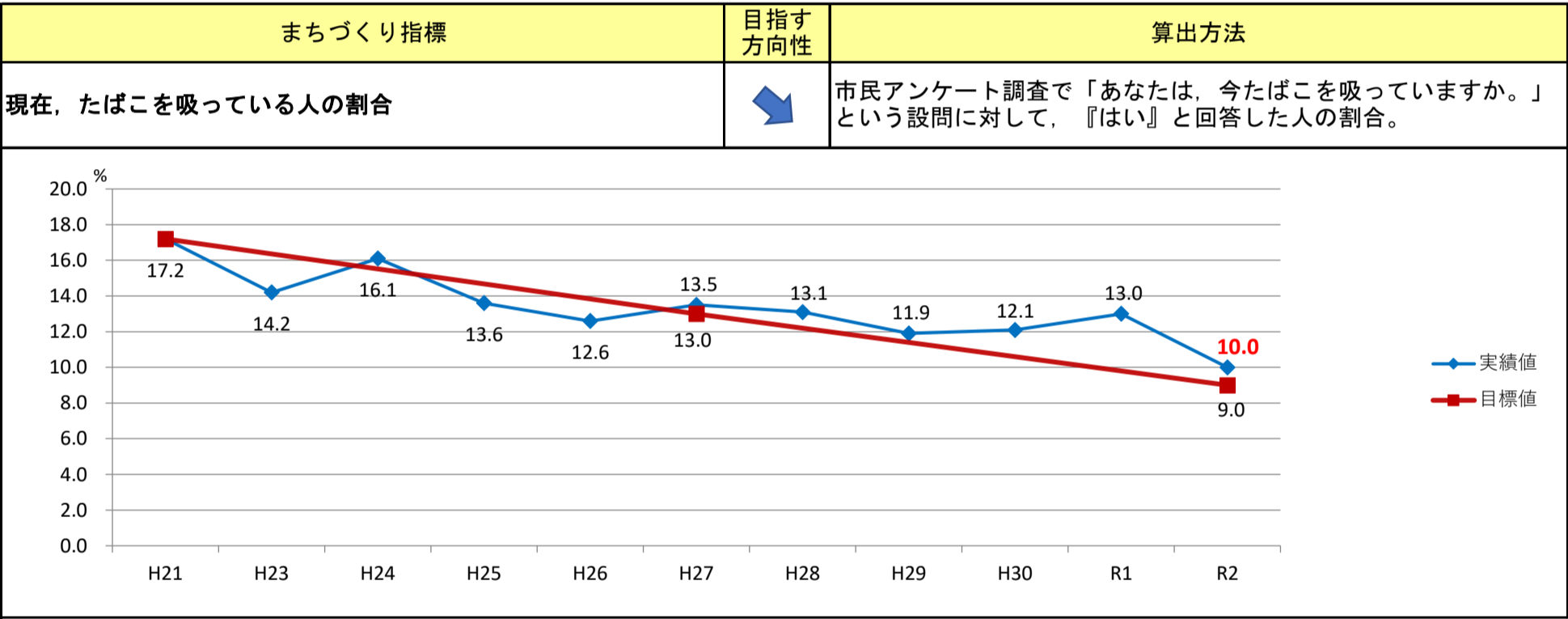


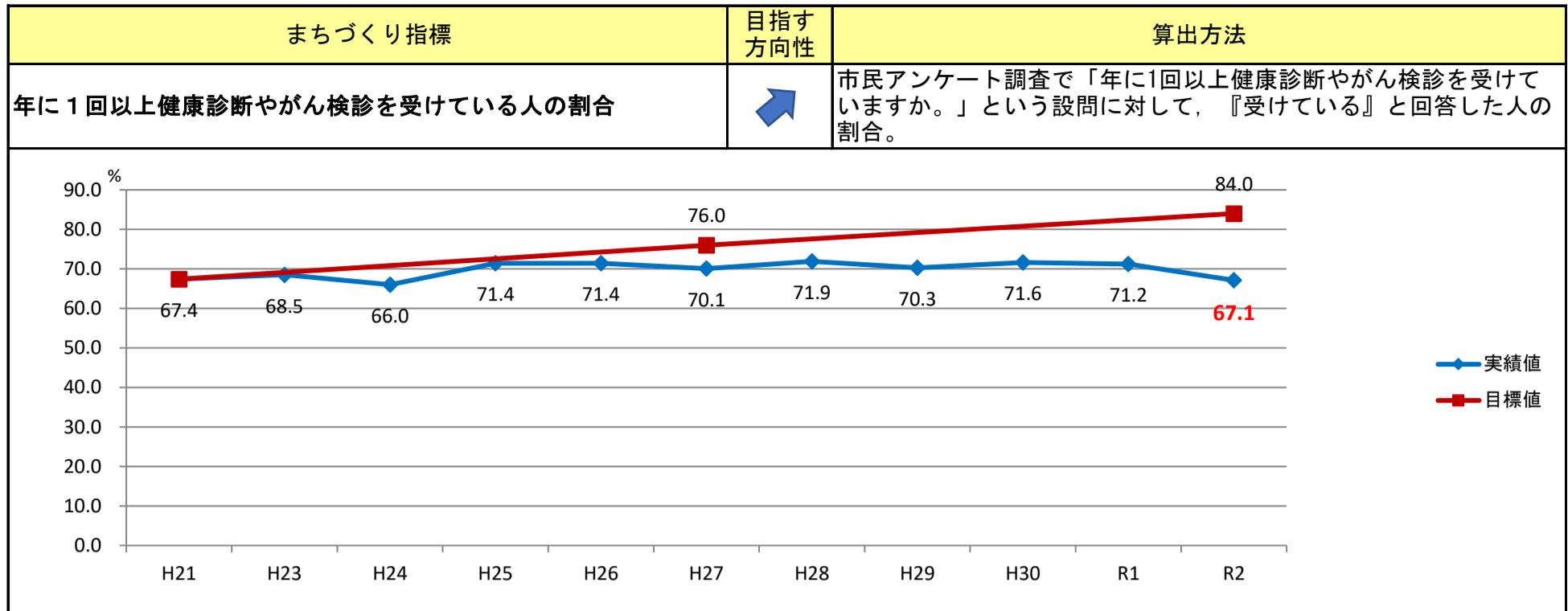
【快 適】 めざすまちの姿 市民が自分の健康に関心をもち、健康づくりに自ら取り組んでいる

市の基本方針

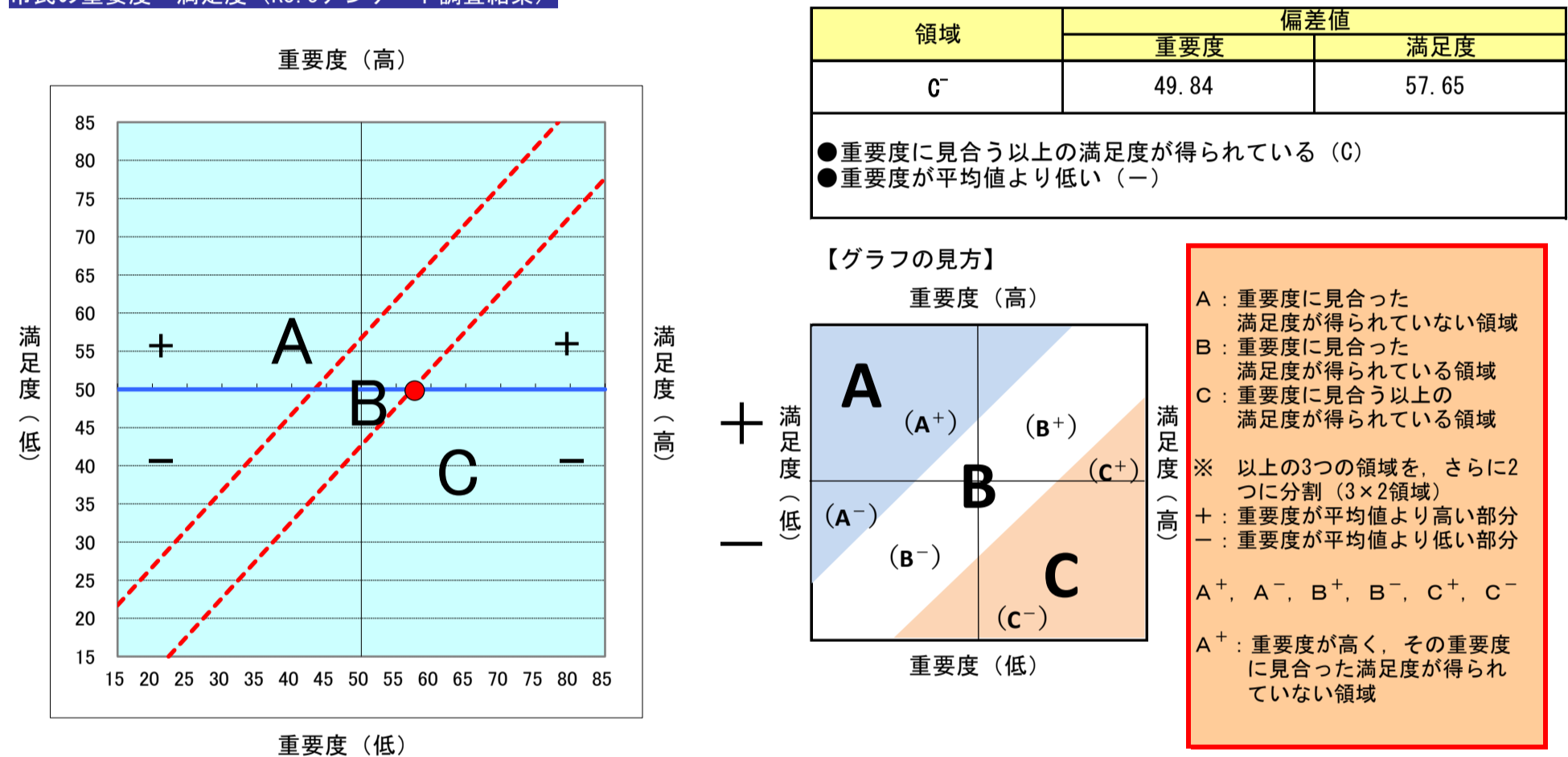
- 健康づくりの基本は、「運動」「栄養」「休養」のバランスがとれた生活習慣の確立です。自分の健康は自分で維持・向上させることを基本に、市民一人一人の主体的な健康づくりを促進するため、生活習慣病に関する知識の普及啓発や健康教育、健康づくり活動の機会を充実します。また、健康づくりボランティアと協働して地域における活動を支援するとともに、企業と協働し、職場における健康づくりを支援します。
- 病気や症状などが進行しないうちに早期発見と治療が行えるよう、各種健康診査を充実するとともに、健康診査の重要性の周知徹底を図り、受診率の向上を図るため広報活動の強化や未受診者への働きかけを行います。
- 心の健康づくりについての講座や健康相談を充実します。また、産業保健分野、教育分野、地域保健分野など、関係機関や地域との連携を一層強化し、自殺予防対策を推進します。
- 新たな感染症の出現や新たな予防法の確立もあるため、的確かつ新たな情報提供と、正しい知識の普及啓発を行い、予防接種等の接種勧奨も含めて予防対策を進めます。

数値目標





市民の重要度・満足度 (R3.5アンケート調査結果)



施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的 (I) / 令和2年度の主な実績 (II) / 今後の方向性 (III)	R2年度決算額 (千円)
	「健康くらしき21」推進事業	(I) 倉敷市健康増進計画「健康くらしき21・II」を推進することを目的とする。 (II) 重点6分野「運動」「栄養」「休養」「歯の健康」「たばこ・アルコール」「健康管理」について糖尿病予防を切り口に推進を行い、健康教育を55回1,261人を対象に実施した。 (III) すべての人の健やかな生活習慣の形成に向け、「個人の行動変容への働きかけ」と「自然に健康になれる環境づくり」を継続して実施する。	277
創	くらしき健康応援事業 (再掲)	(I) 健康無関心層の方も含め、健康づくりに関心を持ち、健康行動の実践のきっかけとなることを目的とする。 (II) くらしき健康応援団講座 (25回424人)、くらしき健康応援ガイドの発行 (年2回各3,000部)、測定体験 (33回1,412人)、くらしき健康ポイント事業 (WEB・アプリ参加者延4,160人) (III) 市民の健康意識の向上に向け、内容の見直しを行いながら継続して実施する。	7,229
	「運動で健康づくり」推進事業	(I) 運動参加者の増加や健康づくりの輪を広げることを目的とする。 (II) ウォーキングマップ「くらしき まち歩き さと歩きマップ」は55学区で完成している。また、マップを活用したウォーキング大会を23回 (1,171人) 実施した。 (III) 継続して実施する。ウォーキングマップについては防災の視点を取り入れた改訂を行う予定	340
	健康づくり事業	(I) 「食事・運動・休養」のバランスをとり健康維持し生活する健康づくりを支援 (II) ヘルスチェック: 261人、健康づくり実践セミナー: 20回・214人、栄養セミナー: 11回・114人、休養セミナー: 12回・186人、おでかけ健康教室: 84回・854人、出前健康教室: 52回・921人 (III) 事業内容及び事業形態につき、見直しを行いながら継続して実施する。	68,226

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R2年度 決算額 (千円)
	健康増進事業	(Ⅰ) 健康増進法に基づき各種検診を実施し生活習慣病の早期発見や予防を行う。 (Ⅱ) 胸部レントゲン検診、胃がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診を市内の医療機関及び地区会場で実施した。また、対象年齢が40歳に乳がん検診、20歳に子宮頸がん検診の無料クーポン券を送付し、受診のきっかけづくりを行った。 (Ⅲ) 各種検診を継続して実施する。	638,080
	女性の健康づくり推進事業	(Ⅰ) 女性の一般健康診査を実施し、やせ、貧血、生活習慣病などの早期発見、早期治療につなげる。 (Ⅱ) 該当年齢の女性全員にがん検診と併せたけんしん受診券(約51,500件)を送付し、2,261人が一般健康診査を受診した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	11,400
	国保特定健診・保健指導事業	(Ⅰ) メタボリックシンドロームに着目した健診・保健指導を行うことにより、糖尿病等の生活習慣病を予防することを目的とする。 (Ⅱ) 40歳以上75歳未満の被保険者に国保特定健診の受診券を個別に送付し、健康について関心を持っていただくことで受診のきっかけづくりを行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	223,104
	国保特定健診受診率向上推進事業	(Ⅰ) 国民健康保険特定健診の受診率向上を目的とする。 (Ⅱ) 令和2年度からは健診が受けやすくなるよう自己負担額をワンコイン(500円または100円)に引き下げ、また未受診者へ受診勧奨通知を送付する等、受診率向上推進事業を実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	10,752
	「生きる支援」の推進	(Ⅰ) 生活に係る行政サービスを「生きる支援」と位置づけ、市民の命を守る。 (Ⅱ) 関係部署連絡会議、推進会議、本部会議を開催し、庁内の情報共有・連携強化を図るとともに、ゲートキーパー役割強化のため、e-ラーニング等を実施した。 (Ⅲ) 事業内容を検討しながら、継続して実施する。	-
	自殺対策事業	(Ⅰ) 市民一人ひとりが、かけがえのない命を大切にし共に支え合い健康で生きがいと希望を持って暮らすことができる地域社会の実現のため。 (Ⅱ) 関係機関と連携し「生きるを支えるフォーラム」の開催、「自殺予防デー(9月10日)」「自殺予防週間(9月10～16日)」「自殺対策強化月間(3月)」等自殺予防に関する啓発を行う他、ゲートキーパー養成研修や自殺未遂者への支援を実施した。 (Ⅲ) 倉敷市自殺対策基本計画(第2期)に基づき、倉敷市自殺対策ネットワーク会議を中心に関係機関の連携強化を図り、自殺対策を総合的に継続して実施する。	11,903
	くらしき心ほっとサポーター事業	(Ⅰ) 行政と協働で心の健康づくりの推進や精神障がいに対する偏見除去の啓発をする人材を養成する。 (Ⅱ) 感染拡大防止のための活動自粛のため、当事者との交流・啓発活動ができない状況であったが、他地区サポーターとの交流や啓発媒体の作成等を実施した。 (Ⅲ) 通常の活動は難しいと考えられるため、現状でできる活動について検討し、継続して実施する。	954
	精神保健相談、訪問指導事業	(Ⅰ) 心の健康やアルコールなど、本人及び家族が抱える問題に対して、精神科医に相談する場を設けることで、問題解決や早期治療につなげる。 (Ⅱ) 医師による心の健康相談を保健所で月1回実施し、12件の相談を受けた。 (Ⅲ) 対応に困っている家族や受診をためらう本人・未受診者など、地域に潜在する困難ケースへの対応等の助言を専門医から得られる機会を確保するため、今後も継続して実施する。	288
	健康診査受診率向上推進事業	(Ⅰ) 各種健康診査受診率を向上させ、疾患の早期発見や生活習慣改善のきっかけづくりをし、市民の健康寿命の延伸を図る。 (Ⅱ) 6月からの健康診査開始に合わせ、健康診査に関する情報を掲載した「倉敷けんしんガイド」を広報くらしき6月号と一緒に全戸配布した。10月の乳がん月間に合わせキャンペーンを展開し、横断幕・懸垂幕等を掲示しPRした。10月には20代・30代の節目の女性(9,694人)にがん検診についてハガキを送付し受診勧奨した。 (Ⅲ) 受診率向上に向けた情報提供や受診勧奨などを継続して実施する。	3,649
	高齢者インフルエンザ等予防接種事業	(Ⅰ) 接種費用の助成により接種率の向上や高齢者の感染症予防を図る。 (Ⅱ) 高齢者インフルエンザ予防接種が無料になったことにより、例年と比較し接種者が多く、接種率77.0%であった。高齢者肺炎球菌ウイルス予防接種は、昨年度とほぼ同じ接種率26.7%だった。 (Ⅲ) 高齢者のインフルエンザや肺炎球菌ワクチン接種率向上のため、今後も助成を継続する。	610,872
創	風しん対策事業	(Ⅰ) CRS対策及び追加的対策の周知や実施を行う。 (Ⅱ) CRS対策として抗体検査を756人、予防接種の助成を515人に対し実施した。追加的対策として抗体検査を9,219人、予防接種を2,141人に対し実施した。 (Ⅲ) CRS対策並びに追加的対策を進めるため、検査、接種費用について、今後も助成を継続する。	69,765
	予防接種事業	(Ⅰ) 感染の恐れのある疾病の発生及びまん延の予防を目的として実施した。 (Ⅱ) 予防接種法に基づく定期接種を医療機関に委託して実施した。また、定期予防接種の接種時期など、チラシ配布やホームページの掲載など、啓発を実施した。 (Ⅲ) 定期予防接種を適切な時期に接種できるよう、今後も助成などを継続する。	1,099,305
	感染症対策事業	(Ⅰ) 感染症の発生防止や二次感染の拡大防止を行う。 (Ⅱ) 新型コロナウイルス感染症対応として、PCR検査、医療費の公費負担や感染拡大防止対策を実施した。 (Ⅲ) 感染症予防に対する知識の普及啓発や予防活動を継続する。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を継続する。	164,163

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R2年度 決算額 (千円)
	結核対策事業	(Ⅰ) 結核の早期発見, 蔓延防止 (Ⅱ) 65歳以上の定期健康診断15,989人, 感染予防のための健康教育を71回・1,932人, 結核患者への服薬支援(DOTS)を79人, 治療後の再発を防止するための管理検診を134件, 接触者への健康診断181件等を実施した。 (Ⅲ) 結核患者は高齢者割合が高く, 長期の入院はADL低下につながるため, 健康診断勧奨に努める。治療時には, 関係機関と連携して支援を継続する。	7,217
	エイズ対策事業	(Ⅰ) 感染防止や偏見解消, 電話相談や匿名無料の抗体検査を実施する。 (Ⅱ) 普及・啓発としてエイズ出前講座を3回, ミニ講座を3回開始した。また, 保健所における匿名・無料の抗体検査を91人が受検した。感染不安者に対して専用電話(エイズホットライン)等を利用した相談2996件を実施した。 (Ⅲ) 若い世代や男性同性愛者等への啓発・出前講座を行い, 夜間・休日の迅速検査などを実施するなど, 幅広く周知を行う。	7,842
	生活保護適正実施事業(再掲)	(Ⅰ) 健康で文化的な最低限度の生活が保障されるよう, 生活保護制度の適正実施と円滑な運用を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 面接相談員, 就労支援相談員, レセプト点検員, 年金調査専門員を配置し, 生活困窮者への面接相談を1,387件実施し, 保護受給者に対しては就労支援を行った。また, レセプトの過誤確認を実施し, 医療扶助費を49,448千円削減できた。 さらに, 年金受給権の調査・判明による年金受給で, 生活扶助費を2,983千円削減できた。 健康管理支援事業では, 対象者に対し医療機関への受診勧奨を行った。 (Ⅲ) 事業内容や配置人員等について精査し, 今後も継続して実施する。	73,210
創	高梁川流域健康づくり促進事業	(Ⅰ) 高梁川流域自治体の保健活動について情報交換を行うことで, 効果的・効率的に事業を実施する。 (Ⅱ) 高梁川流域健康づくり事業展開検討会議を年2回開催し, 健康課題を踏まえた事業展開を検討する内容のほか, 保健事業全体の情報交換を実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	8